

弦が揺れると、僕は季節の風になる

✦ 文 佐田大陸 text by Tairik Sada ✦

ダンバー数

霊長類の行動を専門としている、イギリスの人類学者ロビン・ダンバーは自身の著書で「人間にとって平均約150人が、それぞれと安定した関係を維持できる個体数の認知的上限である」と述べています。人類が狩猟採集民だった頃、コミュニティを維持できる村落の規模もおおよそ150人程度、現代の軍隊では、戦闘部隊は平均130人から150人で編成されると、ダンバーは言っています。

先日、友人から連絡が入りました。「俺も始めた。防御の練習をしたいから、今度フリータイムに一緒にやろうぜ」

自分は趣味と健康維持のためにキックボクシングの道場にたまーに通っているのですが、それを以前話した友人からの連絡でした。

「忙しい男なのに、かわいいやつめ」ニヤリと口元を緩ませながら、ふと気が付いてしまったことがあります。それは、自分には友達が少ないということです。

仕事関係全く抜きで友人と会うのは、半年以上前にソイツにその話をして以来だったからです。

2020年コロナ禍に突入し、皆外出を控えるようになり、自分も仕事以外は当たり前のように家にいました。同年代は次々と結婚し、会う機会も減った。そういうものかと思っていま

した。しかし、違った。2023年12月現在でも、プライベートでそんなに外に出ていない事実が気がついたのです。仕事柄いろんな所に行ってる人には会っていたので気がつきませんでした。自分は基本インドア派な人間なんだと。

ダンバーの法則からもう少し幅を広げて見てみると、世界の人口約70億人の中で、死ぬまでに接点を持てる人は3万人ほどしかおらず、人と人が巡り会う確率は、0.00004%ほどらしいです。ダンバー数は150人でも、親友など親密な関係はさらにそこから10分の1以下のようなのです。

自分にとってはまさに天文学的な確率です。だからこそ今あるご縁を大切に、せめて自分と関わってくれる人にはポジティブな影響を与えられる人間でありたいと思っています。

自分は今、TSUKEMENというグループで活動しています。彼らも数少ない極めてディーブな友人であり仕事仲間です。ありがたいことに、今月の12月15日に15周年を迎え、スペシャルライブの真っ只中です。

親友関係と仕事を両立し、15年も続けられたのはまさに奇跡、感謝しかあり

ません。本誌の発行日は12月11日。スペシャルライブの最終日の東京公演は12月16日です。後悔はさせませんので、どしどし参加してくださいね。まだ間に合いますよ！

こんな素晴らしい知的な教養誌なのに、最後にぬけぬけと怪しいサイトの広告のような誘導、着地を失ってしまい、大変申し訳ありません。誠意、活動しております。



profile

TAIRIK(たいりく) ヴァイオリニスト / ヴィオリスト / 作曲家

桐朋学園大学音楽部卒業、同大学院修了

ヴァイオリン&ピアノによる3人組ユニット「TSUKEMEN」を結成後、キングレコードよりメジャーデビュー。最新アルバム「HAPPY キッチン」など、リリースしたCDはクラシック・チャート1位を次々と獲得。国内にとどまらず、アメリカ、アジア、ヨーロッパなどで700本を超える舞台に立ち、50万人以上の観客を魅了。近年ではTSUKEMENに加え、古澤巖氏と結成した弦楽四重奏団「品川カルテット」、水谷晃氏と結成した「MIZUTANI×TAIRIK」も大反響を呼んでいる。

「徹子の部屋」「題名のない音楽会」「きょうの料理 栗原はるみのキッチン日和」など数多くのTV番組に出演。

SBCラジオ「TSUKEMEN TAIRIKの信 TAIRIK発見」毎週月曜 15:00台にレギュラー出演中。

<https://tsukemen-music.com>

